

# 審議会等の会議結果報告書

課所名

都市計画課

会議名 第48回諏訪市都市計画審議会

開催日時 令和4年1月18日(火)13時30分から15時まで

(敬称略)

出席者

○諏訪市都市計画審議会委員(15人)

牛山 正 高木 智子 今井 晴彦 小泉 幸善 藤森 紀保  
岩波 寿亮 佐久 秀幸 小川 智一 青沼 俊和 小松 郁俊  
高橋 純 金子 田美 小山 靖 木村 智行  
桑澤 隆(篠原 一則代理)

○諏訪市長

金子 ゆかり

○諏訪市都市計画審議会幹事(6人)

中澤 健一 榎尾 政行 金子 健一郎 豊島 修 笠原 彰  
古河 英明

○事務局(2人)

清水 玲子 河西 裕太

○その他出席者(1人)

諏訪建設事務所整備課主任技術専門員 平林 茂

(傍聴者1人)

資料

次第、資料1、資料2、資料3

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

●議案第1号 諏訪都市計画ごみ焼却場の変更について

諏訪都市計画ごみ焼却場のうち、1号諏訪ごみ焼却場を廃止するもの。岡谷市、下諏訪町と共同で湖周クリーンセンターを稼働させたことに伴い、当施設はその役割を終え、令和元年度までに解体除却された。跡地利用について検討を重ね、当地にごみ焼却場を新たに設置する可能性がないことから、都市計画を廃止する。

(諮問のとおり決定)

【質疑・意見】

(質問)廃止後は市の普通財産となっているのか。

(回答)今はまだ行政財産である。

(質問)この場所には剪定木リサイクル施設があるが、それはどうなるのか。

(回答)現在も稼働中であり、当面稼働していく予定である。

(質問)跡地利用の検討については、ごみ焼却場として利用するかという検討だったのか。それとも、それ以外も含めて跡地をどうしていくかという検討だったのか。

(回答)従来は広域のリサイクル施設の建設という計画があり、検討していた。しかし、民間事業者による安定的な処理も継続できていることから、リサイクル施設の建設については再検証することとなり、当面の間、当地へのごみ処理施設の立地の可能性がなくなった。

●議案第2号 諏訪都市計画道路(3・4・20号諏訪バイパス沖田大和線ほか2路線)の変更(長野県決定)について

長野県が都市計画決定を行う道路であるが、都市計画法に基づき、長野県知事から諏訪市に対して意見照会があったので、当審議会に諮るもの。

(諮問のとおり承認)

【質疑、意見】

(質問)県の都市計画決定はいつ頃の時期になりそうか。

(回答)まだ具体的な日程は決まっていない。順次手続を進めながらということになる。

(質問)資料の黄色部分の都市計画が廃止され、赤色部分が新たに都市計画される区域ということでしょうか。

(回答)そのとおり。

(質問)道路幅20mで計画されているが、橋梁部分などは法面等で20m以上が道路敷と

なると思われる。今回の決定では 20mのみということか。

(回答)そのとおり。将来的に詳細な設計がされれば、より広い道路用地が必要になる可能性もあるが、今回は 20m幅での都市計画変更となる。

(意見)観光面から、まちなかを車が通らなくなることになり、さびしくなると感じる。

(質問)この先、人口減少が進んでいくと思うが、交通量の見通しをどのように見ているか。

(回答)交通量については環境影響評価の中で、下諏訪町東豊の地点で平成 27 年に 15,176 台/日であるものが、令和 12 年時点で 18,300~32,100 台/日と予測されている。バイパスがあればそちらを通る交通が、現在は県道岡谷茅野線に集中しており、渋滞・死亡事故の原因となっている。それを補完することがこの計画の目的である。

(質問)事業主体はどこか。

(回答)国土交通省関東地方整備局が事業を行う。長野県は、都市計画の手続と環境影響評価の手続を代理で行っている。

(質問)ということは、費用は国が負担するのか。

(回答)予算の配分などはまだ決まっていないが、事業は国土交通省が行う。

(質問)諏訪市が負担することも予想されるのか。

(回答)諏訪市の都合で工事が必要となった場合には、負担も考えられる。

(質問)トンネル部は2路線に分かれるが、それぞれ幅員 10mなのか。

(回答)片方のトンネルにだけ歩道が付く。そのため、トンネル部は歩道のあるほうが 10.75m、歩道のないほうが 9.5mという計画となっている。

(質問)ということは、幅員全部で 20mというわけでもないのか。

(回答)標準幅員は 20mだが、構造により 20mでない部分もある。

(意見)西方のほうは大型トラックの通行や、事故がある。バイパスができて塩嶺から茅野にスムーズに抜けていくのは良い。ただ、水や温泉など産業界にあまり遺恨を残さないように進めてもらいたい。また、産業界にとっても時間短縮になったり、運転者の疲労がなくなったり良いことだと思う。

(質問)事業着手してから地盤調査となるようだが、大和などは岩盤が固い。その場合、ルート変更などは考えているか。

(回答)まだ始まっていないので、ルート変更などはこれからの話になると思うが、最終的に判断するのは事業者である。ただ、事業着手までいかないと、測量・調査が進まず設計もできない。

(意見)このバイパスにより、交通量の問題はだいぶ解決されると思う。